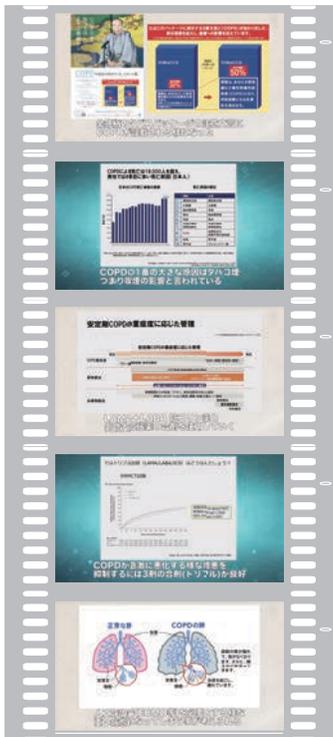




POINT 1

**COPD潜在患者を  
見逃す要因とは**



POINT 2

**トリプルセラピー有効症  
例とエビデンス**



日本赤十字社医療センター  
呼吸器内科 部長

いづも たけひろ

**出雲 雄大 先生**

●所属  
日本赤十字社医療センター  
呼吸器内科 部長

●ご専門分野  
呼吸器疾患、慢性咳嗽の診断と治療、  
気管支喘息、肺がん

POINT 3

**新型コロナウイルス感染症  
との関係性**

COVIDは、従来、肺気腫や慢性気管支炎と呼ばれてきた呼吸器疾患の総称であり、COPDと呼ぶようになってから、広く認知されているとは言えません。一方で、今なお、世界で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の重症化のリスク因子でもあり、注目度の高い疾患であることは言うまでもありません。そこで、COPDをご専門にされている出雲先生にご出演いただき、COPDの疾患概要をはじめ、薬物療法・非薬物療法を含めた現在の治療方針のトピックスに至るまで詳細にご解説いただきました。肺の生活習慣病ともいわれるCOPDを取り巻く現状を正確にとらえる上で、是非ご覧いただきたい内容となっております。



**COPD**

**COPDを取り巻く  
現況を考える**



11:31

**COPD(慢性閉塞性肺疾患)とは**

POINT 1

**非対面診療の  
在り方とは**



POINT 2

**オンライン診療初診症例  
のご紹介**



外房こどもクリニック 院長

**黒木 春郎 先生**

●所属  
外房こどもクリニック 院長

●ご紹介  
昭和59年千葉大学医学部卒業。医学博士。千葉大学医学部臨床教授、日本小児科学会理事、日本小児科学会専門医・日本感染症学会専門医・指導医の傍ら、厚労省「オンライン診療の適切な実施に関する指針の見直し検討会」構成員、日本遠隔医療学会オンライン診療分科会・分科会長、日本医師会「オンライン診療研修に関する検討委員会」委員などを務める。

POINT 3

**初診オンライン診療の  
注意点**

新型コロナウイルス感染症拡大に際して、時限・特例的措置としてオンライン診療、電話診療がともに適応が広く認められることになりました。疾患制限の撤廃により、オンライン診療本来の意義が発揮される局面でありながら、「電話診療」という言葉も同時に普及しており、混乱を生じている側面があります。「現況下だからこそ、今一度オンライン診療本来の意義を見直す必要がある」と黒木先生はおっしゃいます。そこで、初診症例、再診症例を通し、非対面診療の在り方について、分かりやすくご解説いただきました。是非ご覧ください。



**オンライン  
診療**

**地域医療での  
オンライン診療活用術とは**



9:44

**「コロナ時代を生き抜く医療  
オンライン診療の役割」**

**脊視  
髄神  
経炎**

**視神経脊髄炎スペクトラム障害を見逃すな  
～早期発見・早期診断のポイント～**

5:39



- POINT 1 発見・診断が遅れると、失明などのおそれ
- POINT 2 抗アクアポリン4 (AQP4) 抗体の測定が重要
- POINT 3 早期診断と専門医への早期紹介が大切



視神経脊髄炎スペクトラム障害(NMOSD)とは視神経や脊髄、脳などに炎症を起こす自己免疫疾患です。本動画では眼科領域において、NMOSDを早期に発見・診断するためのポイントを毛塚眼科医院理事長/東京医科大学 臨床医学系眼科学分野 兼任教授 毛塚剛司先生にご解説いただきました。

毛塚眼科医院 理事長 / 東京医科大学 臨床医学系眼科学分野 兼任教授

**毛塚 剛司 先生**

●ご紹介・専門分野  
1991年 東京医科大学卒業後、眼科学教室入局。東京医科大学大学院博士課程修了後、米国ハーバード大学スウェンソン眼研究所に留学。帰国後、東京医科大学八王子医療センター講師を経て、東京医科大学眼科学教室講師となり、現在に至る。  
難治性ぶどう膜炎や神経眼科疾患の治療、斜視治療や両眼視機能の改善を専門分野とする。

提供：中外製薬株式会社

注目動画 1

**低  
亜鉛**

**高齢者と亜鉛  
高齢者診療における  
低亜鉛血症**

7:16



- POINT 1 加齢に伴い出現する症状と亜鉛不足による症状の類似
- POINT 2 高齢者における低亜鉛血症の原因
- POINT 3 高齢者において低亜鉛血症を呈する症例像



高齢者は亜鉛の摂取量不足と消化吸収能の低下により低亜鉛血症をきたしやすい。加齢に伴い発現する症状は亜鉛不足による症状と類似している。高齢者診療においては積極的に血清亜鉛濃度のモニタリングを行うことが望まれる。

順天堂大学東高齢者医療センター 消化器内科 科長

**浅岡 大介 先生**

●研究分野 胃食道逆流症、ヘリコバクターピロリ、機能性ディスペプシア、咽喉頭酸逆流症、骨粗鬆症、慢性便秘、フレイル、サルコペニア、軽度認知障害  
●ご紹介  
順天堂大学卒業。2011年に順天堂大学 消化器内科 准教授。2017年より現職に就任し、高齢者の全身管理を考慮した診療および研究に従事している。

提供：ノーベルファーマ株式会社

注目動画 2

**アクセス数ランキング  
2020年**

いつもClinical Cloudのご利用いただき、誠にありがとうございます。激動の2020年において、多くの先生方にご視聴いただいた上位3コンテンツのご紹介をいたします。是非この機会にご視聴いただけますと幸いです。

1



**知っておきたい!日常診断での  
めまい診断と治療の手引き Part1**

城倉 健 先生 横浜市立脳卒中・神経脊髄センター 副院長、脳卒中・脳神経疾患センター長、脳神経内科部長



2



**【小児科での感染症対策・  
病児保育の運営・予防接種の動向】**

竹綱 庸仁 先生 たけつな小児科クリニック 院長(奈良県 生駒市)



3



**睡眠覚醒の謎に挑む -Part1-**

柳沢 正史 先生 IIS 筑波大学国際統合睡眠医学科学研究機構 機構長

